

平成18年度伊丹市行政評価～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133703		
事務事業名	自治会連合会運営支援事務		担当部局・課 市民部 まちづくり課
事業内容	(1) 住民福祉、生活環境の向上および生活安全の推進に必要な活動 (2) 地域社会の親善と交流に必要な活動 (3) 行政および関係機関・団体との提携と連絡調整 (4) その他目的を達成するために必要な活動		事業開始(予定)年度 昭和48年度
			事業終了(予定)年度 —
			—
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
		項目	きめ細かな地域福祉の推進
		施策	総合的なコミュニティ施策の推進
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。		
事業の目的	住民主体の理念をもって、住みよいまちづくりのための住民福祉、生活環境の向上および生活安全の推進に寄与することを目的とし、行政および関係機関・団体と公正に相協力し、緊密な連絡調整を図る。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。) (款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) ふるさとづくり推進事業費 (目) 文化コミュニティ費
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)
	事業費	財源内訳	
		国・県補助金等	—
		市 債	—
		その他(使用料等)	—
		一般財源(市税等)	1,753千円
	事業費	財源内訳	
		国・県補助金等	—
		市 債	—
		その他(使用料等)	—
		一般財源(市税等)	1,716千円
事業費等の概算	投入人員	0.80人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)
	人件費	6,853千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。
	経費合計	8,606千円	
	経費合計	8,569千円	
活動指標	指標名(単位)	自治会加入率(%)	
	意味・算式等	加入率を上げるによりコミュニティ活動が、活性化する。	
		計画と実績	年度 区分 計画値 実績値
			H17年度 H18年度
			95 95
			89

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。